

海運実務研修講座のご案内

2020年度予定および2019年度実績
(東京開催講座)



2020年7月

一般社団法人 日本海運集会所
セミナーグループ

注 ・セミナー会場は、特別な記載がない限り、日本海運集会所の会議室です。

- ・各講座の定員は24名です(通常定員56名)。
間隔を保つため、机1台に1名の着席とします。
- ・講師、内容等は変更になる場合があります。
- ・各講座の1回あたりの講義時間は、原則として90分です。
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
ご参加の際は、マスクの着用や手洗い・うがい等、感染防止対策を心がけるとともに、咳エチケットにもご配慮ください。
また、受付にアルコール消毒液を準備していますのでご使用ください。
以下に該当する方は、参加をお控えください。
 - ・感染が明らかな方との接触歴がある方
 - ・咳や37.5℃以上の発熱症状がある方

記号について

- ★ 入門 → 新人
- ★☆ 初級 → 新人～実務経験3年程度
- ★★ 初・中級 → 実務経験1～3年程度
- ★★☆ 中級 → 実務経験2～4年程度
- ★★★ 中級以上 → 実務経験3年以上

改 前回より講師、内容、講座名、回数等の変更あり

海運実務研修講座 もくじ

NO	テーマ	レベル	2020年度開催予定日	ページ
1	船の技術知識あれこれ(全1日)	★	7月31日	5
2	^(T0日程) 新人社員研修(春)(連続2日間)	★	7月9日、10日	6
4	英文契約書入門(全5回)	★☆	9月29日、10月6日、13日、20日、27日	7
5	^(T1日程) 新人社員研修(春)(連続2日間)	★	7月15日、16日	6
6	^(T2日程) 新人社員研修(春)(連続2日間)【貸切】	★	7月29日、30日	6
7	^(T3日程) 新人社員研修(春)(連続2日間)	★	8月5日、6日	6
9	海上物品運送契約(外航)入門(連続2日間)	★☆	延期(時期未定)	8
10	コンテナ物流の基礎(全3回)	★☆	延期(時期未定)	9
11	港湾・物流基礎(全1日)	★☆	7月7日	10
12	[改]ドライバルク航海傭船契約(全2日)	★☆	7月頃	11
13	税務・会計基礎(全2回)	★★	7月14日、21日	12
14	船舶保険 入門(全3回)	★☆	8月28日、9月4日、11日	13
15	[新]コンテナ船事業概論(仮)	★☆	8月20日	14
16	船の技術知識あれこれ(全1日)	★	8月21日	5
17	船舶管理実務(連続2日間) ※旧 全2日	★★	9月頃	15
18	船の技術知識あれこれ(全1日)	★	9月15日	5
19	海技の知識(全3回)	★★	10月頃	16
20	不定期船実務の基礎知識(陸上編:全3日+海上編:全3日)	★★	9月頃	17
21	[新]フォワード保険 入門(仮)	★☆	10月頃	19
22	^(T4日程) 新人社員研修講座(秋)(連続2日間)	★	10月頃	20
23	P&I保険の基礎(全4回)	★☆	11月頃	21
24	ケミカル/プロダクトタンカーの運航/荷役の実務 (基礎編)(全3回)	★☆	11月頃	22
25	船荷証券・航海傭船契約・定期傭船契約に係るクレーム対応 (全3日)	★★	11月頃	23
26	入門 会計と海運業(全3回)	★	11月頃	24
27	船級協会の概要(全1回)	★	12月頃	25
28	[改]LNGの船上計量-その2(全1日)	★★	1月頃	26
29	内航海運概論(全1日)	★	1月頃	27
30	[改]船荷証券の基礎(全3回)	★★	1月頃	28
31	設問式船舶金融論(連続2日間)	★★	1月頃	29
32	定期傭船契約(全4回)	★★	2月頃	30
33	船舶保険実務(中級)(全1日)	★★☆	2月頃	31
34	[改]船荷証券の実務上の問題点(中級)(全3回)	★★★	2月頃	32
35	造船契約の実務的検討(全1日)	★★	2月頃	33
36	船舶売買の実務(全3回)	★★	3月頃	34
37	タンカー航海傭船契約(全3回)	★★	3月3日、10日、17日	35
38	船の省エネ・環境対応技術(全1回)	★	3月頃	36

NO	テーマ	レベル	2020年度開催予定日	ページ
-	オフショアエネルギー保険の基礎(全1日)	★★	休講(2021年度開催予定)	37
-	外航貨物海上保険 入門(全3回)	★★	休講(2021年度開催予定)	38
(3)	[改]トランプオペレーター <small>※旧 全2回</small> の業務(全1日)	★	休講	39
(7)	[改]貿易実務基礎 <small>※旧 全3回</small> (全1日)	★	延期(時期未定)	40
(8)	共同海損基礎(全2回)	★★	休講(2021年度開催予定)	41
(18)	ドリルシップ・オフショア支援船・FPSOをとりまくリスクと契約上のリスク分担(全2日)	★★★	未定	42

海運実務研修講座 1、16、18 船の技術知識あれこれ(全1日)	
船のことがよく分かる！ 知っていた方が得なメカニズム ★	
今年度 予定	7月31日(金曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 8月21日(金曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 9月15日(火曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)

昨年度実施状況

日時	2019年4月26日(金曜日) 13:30～17:00(途中休憩有) 2019年9月18日(水曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)
場所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対象	入門 若手社員、自身の知識整理・再確認をしたい中堅の方
講師	元 商船三井 常務執行役員 横田 健二 氏
略歴	1977年東京大学工学部船舶工学科卒業。同年大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。工務部にて新造船設計、新造船監督、保船等の業務に従事。 1994年技術部設計チーム課長、1996年技術部LNG船プロジェクトチーム課長、1998年技術部副部長、2000年LNG船管理部副部長、2002年技術部副部長、2005年技術部長、2007年執行役員、2009年常務執行役員を経て、2012年MOLシッピング代表取締役社長、相談役を歴任。現在は業界団体などで講師を務める。
概要	本講座では、船の基礎知識から主要目の説明、推進性能・燃費、さらに造船に関わる知識まで幅広く学習します。充実した資料を参照しながら様々な技術用語もできるだけ解説します。 海運・造船に関わって間もない若手社員や、知識をもう一度整理し理解を深めたい中堅の方々を対象とした、体系的に技術知識を得るために最適な講座です。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・造船海運でよく使われる単位 ・主要金属、液体、気体の比重と物性 ・船とは(船の定義、船の分類) ・船型(1.バルカー、2.タンカー・プロダクト船、3.コンテナ船、4.各船種の構造) ・主要目(1.主要寸法、2.トン数、3.船籍船級検査規則、4.主機関、5.主要補機) ・性能・燃費(1.推進性能、2.燃費) ・復原性能(GM) ・海上試運転 ・造船契約(造船契約と関係者) ・建造工程 ・船費 ・検査・修繕 ・塗装(防錆塗料、防汚塗料) ・係船設備 ・造船海運に関わる人

海運実務研修講座 2、5、6、7 「新人社員研修(春)(連続2日間)」<T0~3>	
船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ ★	
今年度 予定	<T0>7月9日(木)~10日(金)、<T1>7月15日(水)~16日(木)、<T2>7月29日(水)~30日(木)*貸切、<T3>8月5日(水)~6日(木)、各日程 13:30~17:00(初日の懇親会は新型コロナウイルス感染症予防のため中止) 2日目第2部講師:損害保険ジャパン 海上保険室船舶保険グループグループリーダー 知久 府志 氏

昨年度実施状況

日時	<A日程> 2019年4月23日(火)~24日(水)、<B日程> 2019年6月5日(水)~6日(木) 13:30~17:00(初日は講義終了後18:30まで懇親会)	2020年度 講師交代
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:25,000円(税別) JSE非会員:50,000円(税別) ※資料代・懇親会費含む。(懇親会費は日本海運集会所が負担します。)	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	入門 新人社員、中途入社社員	
概要	<p>業界を熟知する3名の実務家に講師を依頼し、二日間にわたり新人社員・中途入社の方々を対象に、下記のとおり海運実務研修講座「新人社員研修(春)(連続2日間)」を開催いたします。今年は、4月と6月と二度開催いたします。</p> <p>初日は、疑似航海のストーリーや海運の歴史を絡めながら、商船運航のしくみを学びます。二日目は、今日の海事産業の全体像を把握し、海運につきもののリスクとこれを回避するための保険について学びます。</p> <p>本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。</p> <p>また、一日目の講座終了後、皆様の交流の場として懇親会をご用意しております。ぜひご参加ください。</p>	
内容	<p>1日目</p> <p>第一部 13:30~17:00 (途中休憩有) 『商船の運航・基礎編』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上貨物輸送の現状(日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元(長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務(入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理(海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策(燃費・CO2排出) ・その他、船の現状(船内生活、通信、健康管理) <p>講師: 日本海洋科学 相談役 関根 博 氏</p> <p>第二部 『懇親会』 17:00~18:30 ・異業種の方とお話しできる場でもあります。積極的にご参加ください。</p>	<p>2日目</p> <p>第一部 13:30~15:00 『海運ビジネスの基礎』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際貿易と海運 <ul style="list-style-type: none"> ・輸送品目と海上荷動き動向 ・船の種類と船腹供給動向 2. 海運ビジネスの仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・船主と傭船者 ・傭船契約と船荷証券 ・海運業の費用構造と採算 ・海運と海事クラスター ・海運市況 3. 海運を取り巻く現状 <ul style="list-style-type: none"> ・環境規制 ・デジタルトランスフォーメーション <p>講師: 商船三井 ドライバルク営業統括部情報・管理チームリーダー 岩佐 竜至 氏</p> <p>休憩 15:00~15:30</p> <p>第二部 15:30~17:00 『船舶保険/P&I保険の概要』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上保険の成り立ち ・海上保険の全体像 ・船舶保険の種類とその概要 ・P & I 保険の概要 <p>講師: 損害保険ジャパン日本興亜 海上保険室船舶保険グループ グループリーダー 宮本 光洋 氏</p>

海運実務研修講座 4 「英文契約書入門(全5回)」	
契約書を体系的に学び、特有の言い回しや単語の意味を理解する ★☆☆	
今年度 予定	9月29日、10月6日、13日、20日、27日(毎週火曜日) 15:30~17:00

昨年度実施状況

日 時	2019年5月10日、17日、24日、31日、6月7日(毎週金曜日) 15:30~17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:25,000円(税別) JSE非会員:50,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級 ※英文契約書の初学者。海運分野における各種契約書講座は、別途実施予定です。	
講 師	小牧 弘幸 氏 ビジネス&法務翻訳者、セミナー講師(英文契約書)	
略 歴	東京外語大学ドイツ語学科を卒業後、1971年日商岩井入社。本社勤務をはじめとし、欧州に11年間駐在。主に船舶(売買・用船)仲介業務に携わる。1994年に日本ウェーブロックに転じ、開発部長、営業部長を経て、理事人事総務本部長を最後に退職。2003年からは在宅翻訳者として、契約書、法律・司法、企業文書(定款・規定・マニュアルなど)の翻訳業の他、翻訳学校や企業などで英文契約書のセミナー講師なども行う。	
概 要	本講座は、まず日本の契約書と英米法の契約書の考え方の違いを学習し、一般的な英文契約書の構成要素を、ひとつずつ読み込んでいきます。次に、英文契約書で使用される用語や表現の法律上の意味、類義語・類例について丁寧な説明を加えながら、豊富な例文に沿って条文を読み解いていきます。さらに、代表的な契約類型の特徴にも触れます。 入門講座ですが、中級にかかる程度の学習内容です。本講座で学ぶ、法律の基本用語や表現(言い回し)の解説は、今後、海運に関わる英文契約書を理解するための基礎となります。	
内 容	1	<英文契約書の特徴> 日本の契約書と英文契約書の違い・英文契約書の構成 ・英文契約書は長い ・契約の成立
	2	・英文契約書の英語 ・表題、頭書、前文、本文、末尾文言、署名 <基本用語・表現の解説> ・英文契約書を理解する上で欠かせない基本的な用語・表現
	3	<一般条項の解説> ・定義条項(Definitions) ・当事者間の関係(Relationship of Parties; or Privity) ・秘密保持(Confidentiality) ・不可抗力(Force Majeure) ・契約期間と契約の解除(Term and Termination) ・契約終了後の取り扱い(Effect of Termination) ・契約の譲渡(Assignment) ・準拠法(Governing Law)
	4	・仲裁(Arbitration) ・裁判管轄(Jurisdiction) ・紛争の解決(Dispute Resolution) ・通知(Notice) ・使用言語(Language) ・権利の放棄(Waiver) ・契約条項の可分性(Severability) ・契約の完結性(Entire Agreement) ・見出し(Headings) ・複本(Counterparts)
	5	<各種国際契約と代表的な条文> (1) 売買契約書 (2) 販売店契約書 (3) ライセンス契約書 (4) 合併契約書 <質疑応答>

海運実務研修講座 9 「海上物品運送契約(外航)入門(連続2日間)」

業界必須の基礎知識を身につける！

★☆☆

今年度 予定	延期(時期未定) 6月11日(木)、12日(金) 13:30～17:00(途中休憩有)
-------------------	--

昨年度実施状況

日 時	2019年6月13日(木)、14日(金) 13:30～17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級	
講 師	日本海運集会所 仲裁グループ長 青戸 照太郎	
概 要	<p>貨物の海上輸送契約が結ばれた場合、当事者間の権利義務関係を規律するものは、その契約の各条項だけでなく、関連する法律や、判例で示された種々の原則にも及びますので、これらを体系的に理解しておくことが必要となります。</p> <p>本講座では、これから海事関連業界で本格的に実務に携わる方々を対象に、こうした外航の海上物品運送契約に不可欠な法的知識の基礎を、NYPEやGENCONといったDry Bulkで一般に利用される標準書式を参照しつつ、イラストを用いたやさしい解説で、2日間集中して講義します。</p>	
内 容	6月13日 (木)	第一部 1.海上物品運送と輸出入(FOB、CIF、L/C決済) 2.海上物品運送の契約手段(B/L、C/P) 3.運送人による船舶の手当(BBC、T/C、V/C) 4.運送契約の成立と権利義務(含COGSA)
		第二部 1.Voyage Charter の全体像 2.Laycan と Arrived ship 3.荷役(Laytime、Demurrage、FIO等) 4.運送人の権利と義務(運賃、B/L等) 5.貨物の引渡し(LOI渡し等)
	6月14日 (金)	第三部 1.Time Charter の全体像 2.本船の引渡し 3.Off-hire 4.傭船料の支払いと引揚権 5.傭船期間と返船及び最終航海の指示 6.その他(Employment、荷役責任、ICA、スピードクレーム)
		第四部 1.傭船契約と船荷証券の関係 2.船荷証券の当事者 3.各運送契約の相違と補償 4.ケース・スタディー

海運実務研修講座 10 「コンテナ物流の基礎(全3回)」

長らく海運の実務に携わった講師が現場の視点で解説

★☆☆

今年度 予定	延期(時期未定) 6月15日、22日、29日(毎週月曜日) 15:00~17:00(120分/回)
-------------------	--

昨年度実施状況

日時	2019年6月10日、17日、24日(毎週月曜日) 15:00~17:00(120分/回)	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:22,858円(税別) JSE非会員:42,858円(税別) ※資料代・本代含む	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初級	
講師	コスモ・レジェンド 代表取締役 臼井 修一 氏 (元 商船三井)	
略歴	<p>1976年大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。 コンテナ営業部門、企画業務部門を経て港湾・流通部門のグループ・リーダーとなりアジア各国の物流センターを立ち上げた。 また、国土交通省の月刊誌「港湾(日本港湾協会発行)」編集委員を長年にわたり務めた。 MOLジャパン営業企画部長時代は、本田技研の上海のサービスパーツ物流センターを設営。2007年商船三井退職後は、五十嵐冷蔵にて執行役員を務める。同社の海外における冷凍倉庫事業展開を指揮。 2010年コスモ・レジェンドを設立。人材紹介事業、講習会、海外物流関係等コンサルタント事業などを展開中。 2014年には、物流大手SBSホールディング社のタイ国レムチャバンでの大規模物流センターの建設に関するコンサルティング業務を受注し、詳細設計、施工管理を包括的に引受けた。</p>	
著書	実務入門書『コンテナ物流の基礎』(コスモ・レジェンド)	
概要	商船三井にて長年コンテナ部門に従事した講師が、著書『コンテナ物流の基礎』を使い、コンテナ物流の従事者が身につけておくべき基礎知識をテーマを深掘りして説明します。1回当たりの講義時間を120分とし、全3回となっています。	
内容	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ貨物の輸出入の流れ <ul style="list-style-type: none"> － 売買契約とL/C開設からブッキング、船積み/卸し、書類の流れ ・コンテナ貨物の通関 <ul style="list-style-type: none"> － 日本のユニークな通関制度とコンテナ貨物の通関 ・コンテナ船の大型化の背景とアライアンスの流れ
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ定期航路の経営“疑似体験” <ul style="list-style-type: none"> － コンテナ航路とウィークリーサービスの本質 － 投入隻数、具体的スケジュールの検討 － コンテナ定期航路の開設、運営をリアルに“体験” － 収支の構造をシミュレーションしながら、様々な費用項目を現場の視点で解説。損益は？
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナターミナルの概要と貨物の流れ <ul style="list-style-type: none"> － オペレーションの流れと本船荷役 － 船舶代理店と集荷代理店 ・ISO海上コンテナと危険品他特殊貨物のバンニング ・コンテナ物流の周辺常識 <ul style="list-style-type: none"> － 船荷証券(B/L)とSea-WAYBILL － セキュリティ全般
持ち物	電卓(携帯・スマートフォン等の電卓機能も可)	
テキスト	著書『コンテナ物流の基礎』(コスモ・レジェンド)	

海運実務研修講座 11 「港湾・物流基礎(全1日)」

輸出入の業務、国際物流を支えるプロになる

★☆☆

今年度 予定	7月7日(火曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)
-------------------	------------------------------

昨年度実施状況

日 時	2019年7月3日(水曜日) 13:30～17:00(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級	
講 師	元 商船三井、元 ジャパンエクスプレス 専務取締役・顧問 春山 利廣 氏	
略 歴	1973年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。商船三井入社。 1984～1989年米国ロスアンゼルスに駐在。輸入貨物のロジスティクス構築に従事。1997～2000年タイ国バンコックに駐在。保税倉庫を運営。2001年タイ国Assumption大学MBAコース修了。経営学修士。 2001～2003年米国ミシガン州駐在。保税倉庫を運営。2003年ジャパンエクスプレスに移籍。取締役兼倉庫部長、2012年常務取締役、専務取締役を経て顧問。2013年退社後、コンサルタント業開設。 現在東海大学海洋学部にて非常勤講師を務める。パーソルテンプスタッフ、大原学園他にて貿易、通関の講座を担当。	
著 書	『ココで差がつく!貿易・輸送・通関実務』成山堂書店 『港湾倉庫マネジメント—戦略的思考と黒字化のポイント』成山堂書店	
概 要	講座は、前半の「輸出」では、貨物が工場や倉庫から出荷されて船積されるまでを扱い、国内における貨物の移動工程を俯瞰します。 後半の「輸入」では、貨物が港に到着してから個々のエンドユーザーに渡るまでの個別対応について学習します。 「輸出」と「輸入」における海上輸送部分の前後の移動工程を把握し、各工程の業務と専門性を理解することで、国際物流の一端を担えるようになることを目的としています。	
内 容	1	輸出 ・輸出貨物が工場や倉庫で完成してから船積まで、日本国内の移動工程を俯瞰する。 ・移動工程は、トラック輸送、通関、倉庫、港湾運送など当該分野のプロが連続して担当する。それぞれのプロの資格要件と業務の概要を取り上げる。
	2	輸入 ・輸入貨物が港に到着してからエンドユーザーに渡されるまでの移動工程を俯瞰する。 ・通関や港湾倉庫、国内輸送など各分野のプロがこの工程に参加する。 ・輸出と異なりエンドユーザーの要望は多様であり、プロの個別対応を取り上げる。

海運実務研修講座 12 「ドライバルク航海傭船契約(全2日)」

改

航海傭船契約の原理原則とLaytimeの考え方を習得する

★☆☆

今年度 7月頃
 予定 講師: 日本海運集会所 仲裁グループ 村上 尚暉

昨年度実施状況

2020年度 講師交代

日時	2019年9月19日、26日(毎週木曜日) 13:30~17:00(途中休憩有)	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員: 20,000円(税別) JSE非会員: 40,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初級 航海傭船契約の原理原則、Laytimeに関する基本的な知識を整理したい方	
講師	日本海運集会所 仲裁グループアシスタントマネージャー 松下 千紗	
概要	<p>本講座の前半は、航海傭船契約の基本的な考え方を整理し、その性質や船主と傭船者それぞれにおける義務など契約上押えておくべきポイントを学習します。</p> <p>後半は、航海傭船契約上、最も頻繁に起こるトラブルの一つである Laytimeに関するものに焦点を当てていきます。当事者間で納得の行く形でトラブルを処理することは、傭船実務を円滑に進める上で重要なことです。ドライバルク貨物運送用の航海傭船契約標準書式(GENCON)における関連条項なども適宜取り上げながら、航海傭船契約における Laytimeの位置付け、典型的なトラブル、英国の裁判所が打ち立ててきた諸原則を、傭船実務経験の浅い方向けに解説します。</p> <p>(「タンカー航海傭船契約(全3回)」は、別途、来年3月に開講いたします。)</p>	
	1	航海傭船契約の概要 ・航海傭船契約の性質 ・運賃、Detention等
	2	航海傭船契約における義務及び責任 ・船主/傭船者の黙示の義務 ・堪航性、安全港、Laycan、貨物提供義務、荷役責任等
	3	Laytimeとは何か ・航海傭船契約におけるLaytimeの位置づけ ・Laytimeの種類(Fixed LaytimeとCustomary Laytime)
	4	Laytimeの開始 ・Laytime開始の要件 要件①: 約定の場所に到着すること(Port CharterとBerth Charter、WIBONとWIPONなど) 要件②: 荷役準備が完了すること 要件③: NORがtenderされること (NORはいつ出せるのか、Laycan開始前にNORを出したらどうなるのか) ・Turn Timeについて
	5	Laytimeのカウント方法 ・「WWD24CH」や「WWD SHEX」などの表記について ・WeatherやHolidayの考え方 ・CQDについて
	6	Laytimeの終了 ・Laytime終了の時点 ・Despatch、Demurrage及びDetentionについて
	7	Laytimeから除外する時間 ・一般原則: ①除外規定がある ②Owner's faultである ・Demurrageの場合の考え方 ・不可抗力/Force Majeureについて ・Shifting timeの考え方 ・荷役中の離岸 ・Berth待ちの間の船主側の行為

海運実務研修講座 13 「税務・会計基礎(全2回)」

船主業務における海運特有の法人税制を学ぶ

★★

今年度 予定	7月14日、21日(毎週火曜日) 15:30～17:00
-------------------	---------------------------------

昨年度実施状況

日 時	2019年7月10日、17日(毎週水曜日) 15:30～17:00
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	初・中級
講 師	グローバルプロフェッショナルパートナーズ GPP税理士法人 公認会計士・税理士 中島 毅 氏
略 歴	早稲田大学商学部卒業 1992年監査法人トーマツに入所後、監査業務、株式公開支援業務に従事、その後税理士法人トーマツにて国内税務全般に従事した後、2014年より現職。 船主を始めとする顧客に対する税務アドバイザー業務、税務申告業務に従事する。 2017年早稲田大学法学研究科修士課程「国際海事問題の実務と法」にて修士課程修了。
概 要	船主経営では、海運事業特有の契約形態や取引関係が存在し、それに伴う特有の税務上の論点や海外置籍に伴う税務関係の知識が必要になります。 本講座では、海運業に関わる法人税制のポイントや企業経営上の留意点等について解説いたします。
内 容	船舶所有者に関する法人税制 ・裸傭船契約の留意点 ・海外子会社に対する税制(タックスヘイブン税制) ・親子会社間の取引(船舶譲渡、定期傭船)に関する留意点 ・その他船舶所有者に特有の税制(特別償却、圧縮記帳ほか)

海運実務研修講座 14 「船舶保険 入門(全3回)」

船舶損害のリスクを補填する保険の基礎知識

★☆☆

今年度 予定	8月28日、9月4日、11日(毎週金曜日) 15:30～17:00
-------------------	-----------------------------------

昨年度実施状況

日 時	2019年6月11日、18日、25日(毎週火曜日) 15:30～17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級	
講 師	東京海上日動火災保険 コマーシャル損害部船舶グループ 課長代理 観音 悠人 氏	
略 歴	2007年入社。入社後、自動車保険に関する損害サービスの企画部門を経て、東京、今治で船舶保険およびP&I保険の損害サービスに従事する。2015年から1年間は米国大学院に留学し修士号(経営)を取得し、2016年から現職。	
概 要	本講座では、船舶保険の基礎を学ぼうとする方々を対象に、各種船舶保険の内容、保険金支払いの対象となる事故および損害、事故発生時の対応・注意点等、船舶保険について押さえておくべきポイントを講義いたします。	
内 容	1	船舶保険の基礎知識 (P&I保険を含めた船舶保険の商品説明を中心として)
	2	海難発生時の対応(1) 修繕・衝突 (保険てん補の範囲を含めて)
	3	海難発生時の対応(2) 全損・救助・共同海損 (保険てん補の範囲を含めて)

海運実務研修講座 15 「コンテナ船事業概論(仮)」

★☆☆

今年度 予定	8月20日(木曜日)
-------------------	------------

2020年度新規セミナー	
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	未定
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	初級
講 師	東海大学 海洋学部 特任教授 合田 浩之 氏(元日本郵船)
内 容	<p>※講義内容は、以下を含め検討中です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.定期船(コンテナ船)の特性、不定期船・専用船と比較して 2.コンテナ船事業の基本 (船・箱・荷役・ターミナルの特性、運賃の決め方やコンソーシアム/アライアンスなど事業の特性) 3.日本の定期船社/コンテナ船社の歴史、三社事業統合への経緯 4.世界のコンテナ船業界のこれから、合従連衡はどこまで

海運実務研修講座 17 「船舶管理実務(連続2日間)」 ※旧 全2日		改
船舶管理業務の概要を体系的に学ぶ		★★
今年度 予定	9月頃	

昨年度実施状況

		2020年度開催形態変更
日 時	2019年9月20日、27日(毎週金曜日) 13:30~17:00(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初・中級	
講 師	ワールドマリン 取締役・常務執行役員・船舶管理グループ長 杉本 和重 氏	
略 歴	1988年ワールドマリン入社。航海士及び船長として海上勤務の後、海務監督として船舶管理業務に従事。同社海務グループ長、品質安全管理室長を経て、2010年より現職。	
概 要	船舶管理は、関連規則・条約の規定に基づき、本船の堪航性を確保しさらに本船の資産価値を維持する船主業務の大きな柱であり、その実務は船舶の安全運航・保守管理・船員の教育訓練、事故防止・対応などのリスクマネジメントと多岐にわたっています。 本講座では、船舶管理業務を熟知した講師に、具体例を交えながら体系的に解説していただきます。	
内 容	1	船舶管理概要 船舶管理契約 / 船舶管理費用 / ISM Codeと安全管理
	2	乗組員管理業務 乗組員配乗管理・教育 / MLC2006条約の概要
	3	工務関連業務 保船・入渠作業実務 / 関連条約・規則と検査
	4	海務関連業務と安全管理 備船契約・運航管理 / Inspection関連業務 / 安全管理実務

海運実務研修講座 19 「海技の知識(全3回)」		★★
船長さんに聞く、船舶オペレーション業務における運航のポイント		
今年度 予定	10月頃	

昨年度実施状況

日時	2019年10月2日、9日、16日(毎週水曜日) 15:30~17:00	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初・中級 オペレーター、実務経験1~3年向き。または海上職で陸上勤務が長い方。	
講師	1	日本船長協会 常務理事 船長 中田 治 氏
	2	日本船長協会 常務理事 船長 中川 悟 氏
	3	日本船長協会 常務理事 船長 長田 泰英 氏
概要	<p>船舶の運航・操船するうえで知っておきたい船種ごとの貨物取扱上の注意点や貨物事故例、気象・海象と輸送中のカーゴへの影響とダメージ防止対策、大型化など船舶の規模・技術の向上に伴う操船の変化といった海上輸送における基礎的な知識を体系的に分かりやすく解説いたします。</p> <p>講師には、海上経験豊富な3名の船長さんを迎え、日本船長協会で作成しているプレゼン資料や映像を用いながらお話しいたします。</p> <p>なお、本講座は、船のオペレーション担当初級者を対象としていますが、海技資格保持者でも長年に陸上勤務されている方、各船長さんの貴重な経験談を聞いてみたいという方にもお勧めです。</p>	
内容	1	<p>初級・中級のオペレーターのための巨大船及び特殊船型船の操船の知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.巨大船と特殊船型船の定義 2.巨大船の惰力と特殊船型船の風圧抵抗 3.制限水域での操船 4.港内操船(タグボートの利用) 5.錨泊、係留 6.荒天航海(破損、転覆を避けるための操船)
	2	<p>船舶輸送中に貨物が受ける影響とその対応</p> <p>※初級・中級オペレーターを対象に、海上輸送中の貨物に対する船上におけるダメージ対策を解説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.貨物に影響を及ぼす要素(外力・熱・湿気) 2.貨物への影響を最小限に防ぐために 3.各専用船における貨物へのダメージ対策 4.危険貨物のみではなく、一般貨物がはらむ危険性について、乗船中に体験した事例の紹介 ほか
	3	<p>初級オペレーターのための気象・海象の基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.知っておくべき基本的な気象知識 2.ウェザールーティングの航路選定について 3.荒天域の避航・避泊について ほか
その他	※日本船長協会が発売している教育用ビデオをもとに構成しています。	

海運実務研修講座 20 「不定期船実務の基礎知識(陸上編:全3日+海上編:全3日)」 不定期船ビジネスを海陸双方向から学ぶ		★★
今年度 予定	9月頃	

昨年度実施状況

日 時	2019年11月7日～12月19日(毎週木曜日) ※12月5日は休講。日程は変更になる場合あり。 陸上編:11月7日、14日、21日(毎週木曜日) 13:30～17:00(90分×2回、途中休憩有) ※3日目(11/21)の講座終了後、18:00まで懇親会 海上編:11月28日、12月12日、19日(毎週木曜日)18:00～20:00(120分/回) ※講師の都合により日程が変更になる場合がございます。	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:50,000円(税別) JSE非会員:100,000円(税別) ※資料代等を含む。参考書籍無料贈呈。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初・中級 不定期船に携わる営業・オペレーター、断片的な知識を整理したい方	
講 師	陸上編	元NSユナイテッド海運 常務執行役員 横溝 豊彦 氏 1976年新和海運入社、ロンドン駐在を経て、総務部法規保険課長、同人事課長、企画グループリーダー、総務グループリーダーを務めた後、2009年から執行役員となる。2010年に新和海運は日鉄海運との合併によりNSユナイテッド海運となったのちは常務執行役員、取締役・常務執行役員、特別顧問、シニアアドバイザーを歴任し、2018年に退任。
	海上編	乾汽船 船舶管理部副部長 海務監督 船長 小坂 吉彦 氏 2001年乾汽船入社。海上勤務後、営業・運航支援の海技員として陸上勤務を行う。その後、船舶管理部を経て海上勤務へ戻り、2013年船長として乗船。2014年11月より海務監督として海務・海技・船員の業務を務める。
概 要	陸上編では、不定期船営業の経験豊かな船社経営者に実務のポイントをお話していただきます。 その後の海上編では、船社の現役船長に、船とその運航に関する技術的な知識・乗組員の話・船用機関基礎・海事法規基礎・貨物と積み付けについて、船の図面、写真、貨物サンプルを用い、船上実務や体験に基づき、バルクキャリアーを例に分かりやすく説明していただきます。 不定期船に携わる方、また断片的な知識はあるものの、船舶建造から処分までの全体像について理解を深めたい方などにお勧めです。 なお、陸上編の終了後、皆様の交流の場と海上編への講師引き継ぎも兼ねて懇親会を行います。ぜひご参加ください。	
内 容	陸上編 13:30～17:00(途中休憩有)	
	11月7日 (木)	1. 海運の歴史 1)世界の海運の歴史 2)わが国の近代海運の歴史
		2. 船舶保有の基本的な考え方 1)Ownerと Owner-Operator 2)海運業における利益追求の考え方 3)船種・船型検討・・・荷主・傭船者の動向把握 4)船価(新造か中古船か)検討 5)本船コスト試算・・・船価、船員費、金利 6)Operatorに傭船に出す場合の注意点 7)傭船契約書(C/P)
	11月14日 (木)	3. 本船コストの試算と収支管理
4. 船舶処分の基本的考え方 1)本船のCondition 2)中古船市場(Ship Sales & Purchase Market) 3)対策		

内 容	11月21日 (木)	<p>5. 海運営業 — 引合と運航、採算と実績</p> <p>1) 引合 (Chartering) の基本的な考え方</p> <p>A) 手持ち戦力の把握</p> <p>B) 市況の判断</p> <p>C) 交渉相手の選択と環境判断</p> <p>D) Offerの準備・心構え (Estimation作成)</p> <p>E) 交渉</p> <p>F) 成約・契約書 (Charter Party) 作成</p> <p>2) 運航 (Operation) の基本的な考え方</p> <p>A) 動静把握</p> <p>B) 積荷・積高・Stowage</p> <p>C) 積揚港</p> <p>D) 航路・補油・気象海象</p> <p>E) 船長・代理店への指図</p> <p>F) 入出金</p> <p>G) Laytime Calculation</p> <p>H) 海難・戦争・訴訟対応</p> <p>I) Arbitration (仲裁)</p> <p>J) EstimationとActual Resultとの比較</p>
		<p>6. 海運経営及びまとめ</p> <p>2019年3月期海運会社の決算状況</p>
		<p>懇親会 17:00~18:00</p> <p style="text-align: center;">海上編 18:00~20:00(120分/回)</p>
	<p>11月28日 ~ 12月19日 (毎週木曜日)</p> <p>※12月5日は 休講</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶概説 (船体構造・載貨重量・ドラフトサーベイ・堪航性・堪貨性など) <ul style="list-style-type: none"> — 船体構造を切り口にして、貨物船全般に船舶の普遍的な知識を解説します。 この話が載貨・貨物・積み付け・堪航性・気象影響の話につながります。 ・貨物と積み付け (港湾と荷役にも言及) ・乗組員の話 <ul style="list-style-type: none"> — 船員の職務・船内生活など ・海事法規 (基礎的なもの 及び 実務で使用するもの) <ul style="list-style-type: none"> — 国際条約 (SOLASなど)、ISM codeとSMSなど ・気象・海象の影響 <ul style="list-style-type: none"> — 船体・貨物に与える影響 (堪航性・堪貨性との関連) および運航に与える影響 (ウェザールーティングとの関連を含む) ・船用機関の基礎 <p>※Bulk carrierを例とし、船上実務や体験に基づいた話を中心に行います。</p>
参考資料	<p>乾汽船発行「不定期船実務の基礎知識」(非売品)</p> <p>日本海運集会所発行「KAIUN(海運)」6月号</p> <p>日本海事広報協会発行「SHIPPING NOW 2019-2020」</p> <p>別途、講座資料等を配布。</p>	

海運実務研修講座 21 「フォワーダー保険 入門(仮)」

★☆☆

今年度 予定	10月頃
-------------------	------

2020年度新規セミナー	
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	未定
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	初級
概 要	未定
内 容	未定

海運実務研修講座 22 「新人社員研修(秋)(連続2日間)」<T4>

船で世界の荷物を運ぶ 海運の基礎を学ぶ



今年度 予定	10月頃 2日目第2部講師: 損害保険ジャパン 海上保険室船舶保険グループ長 知久 府志 氏
-------------------	---

昨年度実施状況

日時	10月23日(水)、24日(木) 13:30~17:00(初日は講義終了後18:30まで懇親会)	2020年度 講師交代	
場所	日本海運集会所 会議室		
受講料	JSE会員: 25,000円(税別) JSE非会員: 50,000円(税別) ※資料代・懇親会費含む。(懇親会費は日本海運集会所が負担します。)		
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。		
レベル 対象	入門 新人社員、中途入社社員		
概要	<p>業界を熟知する3名の実務家に講師を依頼し、二日間にわたり新人社員・中途入社の方々を対象に、下記のとおり海運実務研修講座「新人社員研修(秋)(連続2日間)」を開催いたします。</p> <p>初日は、疑似航海のストーリーや海運の歴史を絡めながら、商船運航のしくみを学びます。二日目は、今日の海事産業の全体像を把握し、海運につきもののリスクとこれを回避するための保険について学びます。</p> <p>本講座は、海運業の経済上の役割の大きさやその仕事の特殊性を理解し、これから携わる業務の礎としていただくことを目的としています。</p> <p>また、一日目の講座終了後、皆様の交流の場として懇親会をご用意しております。ぜひご参加ください。</p>		
内容	1日目	<p>第一部 13:30~17:00 (途中休憩有) 『商船の運航・基礎編』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上貨物輸送の現状 (日本海運と便宜置籍船、船員リソース) ・船の諸元 (長さ、幅、深さ、喫水、トン数、速度、操縦性能) ・航海実務 (入出港、大洋航海、航海計画、荷役、航海計器、当直体制、パナマ運河、スエズ運河) ・船舶管理 ・安全運航管理 (海難事故、海賊対策、ISMコード) ・商船の環境対策 (燃費・CO2排出) ・その他、船の現状 (船内生活、通信、健康管理) <p>講師: UK P&I Club Senior Loss Prevention Executive 元 日本郵船 常務経営委員、日本海洋科学 代表取締役社長 関根 博 氏</p> <p>第二部 『懇親会』 17:00~18:30 ・異業種の方とお話しできる場でもあります。積極的にご参加ください。</p>	
	2日目	<p>第一部 13:30~15:00 『海運ビジネスの基礎』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際貿易と海運 <ul style="list-style-type: none"> ・輸送品目と海上荷動き動向 ・船の種類と船腹供給動向 2. 海運ビジネスの仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・船主と傭船者 ・傭船契約と船荷証券 ・海運業の費用構造と採算 ・海運と海事クラスター ・海運市況 3. 海運を取り巻く現状 <ul style="list-style-type: none"> ・環境規制 ・デジタルトランスフォーメーション <p>講師: 商船三井 ドライバルク営業統括部情報・管理チームリーダー 岩佐 竜至 氏</p> <p>休憩 15:00~15:30</p> <p>第二部 15:30~17:00 『船舶保険/P&I保険の概要』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上保険の成り立ち ・海上保険の全体像 ・船舶保険の種類とその概要 ・P & I 保険の概要 <p>講師: 損害保険ジャパン日本興亜 海上保険室船舶保険グループ グループリーダー 宮本 光洋 氏</p>	

海運実務研修講座 23 「P&I保険の基礎(全4回)」

航海の安心と安全を担保する保険講座

★☆☆

今年度 予定	11月頃
-------------------	------

昨年度実施状況

日 時	2019年11月1日、8日、15日、22日(毎週金曜日) 15:30～17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級	
講 師	日本船主責任相互保険組合(Japan P&I) 損害調査第1部 第3チーム マネージャー 高嶋 俊治 氏	
概 要	<p>P&I保険とはProtection & Indemnity 保険の略称で、船舶の所有・運航に伴って生ずる船主責任を対象とする保険です。</p> <p>港湾施設、養殖施設など第三者の財物に与えた損害、油濁損害、乗組員の死傷、積荷に与えた損害等、幅広い範囲の賠償責任をカバーするもので、船主・船舶運航者には欠かせません。</p> <p>本講座では、P&I保険の総論の後、船員の傷病、財物損害、油濁損害、貨物損害等、広範なP&I保険のてん補についてわかりやすく解説します。</p>	
内 容	1	I. P&I保険の概要 II. 船員クレーム 保険契約、てん補の範囲、クレームの傾向など
	2	I. 財物損害 II. 船骸撤去 III. SCOPIC報酬 船主責任制限制度、SCOPIC条項など
	3	油濁事故 油濁補償の法制度とその歴史、事故対応 など
	4	貨物損害 運送人の責任、国際条約の比較 (ハーグルール/ハーグヴィスビールール/ロッテルダムルール)など

海運実務研修講座 24 「ケミカル／プロダクトタンカーの運航／荷役の実務(基礎編)(全3回)」 今更聞けない？でも今なら聞けるケミカルタンカーの運航基礎実務 ★☆☆	
今年度 予定	11月頃

昨年度実施状況

日時	2019年11月6日、13日、20日(毎週水曜日) 15:30~17:00	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先／先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初級 船舶運航会社の若手社員・新人および商社／メーカーで船舶の運航に関わりのある方	
講師	ISCコーポレーション テクニカルチーム/マネージャー(MSI) 片桐 博樹 氏	
概要	<p>多品種の危険品を積載・運送するプロダクト／ケミカルタンカーは、特にオペレーションが複雑で難しいといわれています。そこでより多くの方に、そのオペレーションをより正確に理解していただくための講座を開催することになりました。</p> <p>本講座は、船会社の若手・新人、荷主(商社・メーカー)の担当者を対象に、とりわけ取り扱いに注意を必要とする危険化学薬品を運送するケミカルタンカーやプロダクトタンカーにおける運航と荷役の基礎知識を学習します。</p> <p>一連の業務の流れを学び、タンククリーニングのポイントや海事法規等にも触れます。また、ワークショップを通じて実践力を身につけます。</p>	
内容	1	ケミカル／プロダクトタンカーの基礎知識 1.ケミカル／プロダクトタンカーの構造について 2.ケミカル／プロダクトタンカーの運航について(入港から着棧、荷役から出航までの流れ) 3.Stowage Plan の作成について(1)
	2	ケミカル／プロダクトタンカーの荷役の基礎知識 1.Stowage Plan について(2) 2.タンククリーニングについて(例 BTX/Palm Oil/Tallow等)の説明 3.クリーニングミスによる事故例/原因検証など
	3	ケミカル／プロダクトタンカーの法令の基礎知識 1.運航上の法令について(MARPOL、IBC Code etc.,) 2.その他要件 (FOSFA、NIOP etc.,)

海運実務研修講座 25 「船荷証券・航海傭船契約・定期傭船契約に係るクレーム対応(全3日)」 運送人／船社の立場から考えるクレーム対応 ★★	
今年度 予定	11月頃

昨年度実施状況

日時	2019年11月12日、19日、26日(毎週火曜日) 13:30～17:00	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:30,000円(税別) JSE非会員:60,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先／先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	法務系の部署の方には、初級 営業・オペレーターの方には、初・中級	
講師	日本船主責任相互保険組合 顧問 小川 優 氏 (元 商船三井 総務部法務・保険グループリーダー)	
略歴	1982年大阪商船三井船舶(現 商船三井)に入社。調査部、定航部(北米)物流事業部で勤務の後、1995年総務部法務・保険グループ勤務。以後法務・保険の仕事に従事。 2009年7月に日本責任相互保険組合に移り、契約総括部長、理事、常務理事を経て、2018年7月より現職。	
概要	本講座は、営業・運航等の業務に携わっている方、また法務系の業務経験の浅い方を対象に、船社が日々遭遇しているトラブルとそれにどう対応していくか、実務家の目線から講義していただきます。 また、各契約の理解をより一層深め、適切に対応できるよう事例を参考にしながら学習していきます。	
内容	1	船荷証券 LOI渡し、元地回収、Seawaybill、電子B/L B/L date、不知文言、Switch B/L 等々、様々なB/Lに関するトラブルと対処法を解説しながらB/L への理解を深めてもらいます。
	2	定期傭船契約 定期傭船契約は、船会社と船会社間、すなわち海上輸送のプロどうしの契約。 Off Hire、Withdrawal、貨物の積・揚作業に関する責任、傭船期間に関する紛争等を船主、傭船者双方の視点から対処法を考えます。
	3	航海傭船契約 船社と大手荷主との契約である航海傭船契約の基本事項を押さえながら、予備航海、安全港、離路、Laytime (NoR)等の問題点を解説します。
	4	その他トピック いずれの契約でも起こりうるトピック、例えば相手方の経営破綻、LOIの問題、海賊問題、経済制裁への対応につき解説します。 最後にまとめとして、様々な海事紛争への対応の基本的な考え方、保険の考え方、P&IクラブのFDD保険の活用法等を説明します。

海運実務研修講座 26 「入門 会計と海運業(全3回)」

初めて学ぶ、海運特有の会計の基礎



今年度 予定	11月頃
-----------	------

昨年度実施状況

日 時	2019年11月29日、12月6日、20日(毎週金曜日) ※12月13日は休講。 15:30~17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門 海運業における会計の基礎を身につけたい方。(新人、1~2年程度向き) ※業務に携わったことのない方向け。経理部の方には易しい内容です。	
講 師	1、3	公認会計士 須藤 佳典 氏
	略歴	EY新日本有限責任監査法人マネージャー 1999年公認会計士二次試験合格後、大手監査法人を経て、新日本監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)入所し現在に至る。海運業/物流業クライアントをメインとし、製造業等の監査やアドバイザー業務等にも携わる。2009年より産業セクター別ナレッジおよびマーケティング活動を担当。法人内外のセミナー・研修講師を担当するほか、新日本有限責任監査法人編著の『業種別会計シリーズ 海運業』、『業種別会計シリーズ 自動車産業』(第一法規)『業種別会計実務ガイドブック』(税務研究会)などに執筆者・編集者として関与。
	2	公認会計士 老沼 淳一郎 氏
	略歴	EY新日本有限責任監査法人 マネージャー 2011年公認会計士二次試験合格後、新日本監査法人(現EY新日本有限責任監査法人)に入所し現在に至る。海運業クライアントをメインとし、建設業、不動産業等の監査業務に携わる。
概 要	本講座では、一般的な会計の基本原則をおさらいしたうえで、海運特有の実務がどう会計処理されるかにつき図表等を用いてわかりやすく解説します。 海運業では船舶管理業の発展、経理のシステム化等により、あるいは船舶金融の多様化等により海運会計の知識を必要とする分野や業務は拡大しています。 海運や関連企業、金融機関でこれから海運会計に直接携わるフレッシュマン、あるいは海運会計に関心のある方を対象に、入門編として基礎となる知識をお伝えします。	
内 容	1	会計と海運業ビジネスの基礎的理解 会計における海運業の特徴
	2	船舶にかかる論点 仕組船会社、償却、修繕、貯蔵燃料・船舶の評価、税務
	3	船舶にかかる論点 減損 海運業の損益項目 海運業収益 代理店との取引(運航費・港費) 借船料
	※講座内容・順序等は変更になる場合がございます。	

海運実務研修講座 27 「船級協会の概要」

船級の役割、基本的な検査内容を把握する



今年度 予定	12月頃
-------------------	------

昨年度実施状況

日 時	2019年12月3日(火曜日) 15:30~17:00
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:5,000円(税別) JSE非会員:10,000円(税別) ※資料代含む
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	入門
講 師	日本海事協会 人材開発センター 牧野 信宏 氏
略 歴	1986年横浜国立大学工学研究科 船舶海洋コース修了後、日本海事協会入会。開発部、船体部、検査技術部にて規則制定、図面審査、就航船の検査対応業務に携り、また、長崎支部、函館支部、上海事務所、岡山支部、広島支部にて、新造船、就航船等の現場検査及びISM、ISPS、MLC審査業務に携わる。2014年からは、内部研修の講師、2017年から現職として、内部及び外部研修等の講師を行っている。
概 要	船級協会の基本的業務についての概説、船級協会の誕生の歴史的背景、船級協会による条約検査代行について、船級検査業務に関連する国際機関(IACS, IMO, ILO)についての概要を説明し、船級協会が行う検査のうち、船級検査、条約検査の具体的な内容について紹介することによって、船級協会の概要をご理解いただけます。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・船級協会の基本的業務、船級協会の誕生、船級協会による条約検査代行 ・関連する国際機関(IACS, IMO, ILO) ・船級協会が行う検査(船級検査、条約検査)

海運実務研修講座 28 「LNGの船上計量-その2(全1日)」

LNG取引の売買契約・規則と技術の両面から学ぶ

★★

今年度予定	1月頃
--------------	-----

昨年度実施状況

日時	2020年1月17日(金曜日) 13:30~17:00(途中休憩有)
場所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル対象	初・中級 船社のLNG船オペレーター・営業、エネルギー・商社等のLNG営業、造船会社のLNG船担当者など
講師	元 日本海事検定協会 春田 三郎 氏
略歴	1978年 国立富山商船高等専門学校卒 1978年 大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社 1985年 日本海事検定協会 入会(2009年よりISO/TC28/SC 5/WG委員長を兼任) 2004年 ニューヨーク州立大学卒 2008年 英国立エクセター大学修士課程修了 2017年 コンサルタントとして独立 2019年 住田正一海事技術奨励賞 受賞
著書	『LNGの計量』(成山堂書店)
概要	<p>わが国がLNGの輸入を開始してから今年で半世紀となります。輸入量は増加の一途をたどり、現在では年間8,000万トンに達しています。近年では輸出国および輸入国の増加に伴い、国際的な貿易量も増加しています。</p> <p>LNGは、個別の売買契約で合意された、MMBTU(百万英国熱量単位)を単位とする熱量で取引されており、積地や揚地において受け渡しされるLNGの熱量は、船上で決定される移送容積と分析から得られる成分組成から算出されます。計量精度や計量手順の違いは、受け渡しされる熱量の多寡に影響を及ぼし、一般的なサイズのLNG船では、0.1%の計量差は取引価格数百万円に相当します。</p> <p>本講座では、LNGの売買契約や国際規格類にもとづいて行われる船上計量について、文系の方にも分かりやすく解説いたします。</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.船上計量の概要 2.船上計量手順と船上計量機器 <ul style="list-style-type: none"> ・液位計測手順および各種レベル計の計測原理、設置基準、精度等 ・液温度とガス温度計測手順、白金測温抵抗体型温度計の計測原理、設置基準、精度等 ・圧力計測手順と圧力計の設置基準、精度等 ・トリム・リスト計測手順と傾斜計の設置基準、精度等 3.移送された液容積の決定方法 <ul style="list-style-type: none"> ・タンク容量表の内容と液容積算出方法 ・移送された液容積とリターンガスの容積の決定方法 4.質疑応答

海運実務研修講座 29 「内航海運概論(全1日)」

日本の産業と国民生活を支える輸送システム



今年度 予定	1月頃
-----------	-----

昨年度実施状況

日 時	2020年1月24日(金曜日)13:30~16:45(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門	
講 師	流通科学大学 商学部 教授 森 隆行 氏	
略 歴	<p>1975年大阪市立大学商学部卒業、大阪商船三井船舶(現 商船三井)入社。1990年大阪支店輸出部輸出2課長。1992年広報室広報課長。1994年営業調査室課長。1996年AMT freight GmbH(出向)社長。2001年丸和運輸機関(出向)海外事業本部長。2004年商船三井営業調査室主任研究員。2006年商船三井退職、流通科学大学商学部教授。</p> <p>著書『新訂・外航海運概論』(成山堂書店) 『物流の視点からみたASEAN市場 東南アジアの経済発展と物流』(カナリアコミュニケーションズ) 『神戸港昭和の記憶 仕事×ひと×街』(のじぎく文庫)</p> <p>共著『内航海運』(晃洋書房) 『コールドチェーン』(晃洋書房) 『神戸客船ものがたり』(神戸新聞総合出版センター) ほか</p>	
概 要	<p>内航海運は、国内物流の約4割を担い、鉄鋼、石油、セメントなど産業基礎資材の約8割の輸送を担っています。また、近年では自然災害からの早期復興、東京五輪のための物資輸送でも活躍し、日本経済が一定規模を維持していく上でも内航海運は、重要な未来ある産業です。</p> <p>本講座では、外航海運との比較により内航海運の特徴を認識した上で、より活力ある産業となるため、抱える諸課題の解決策を検討します。</p> <p>内航業界の次世代を担う若手社員や内航との関わりの強い物流業界の新人の方にお勧めです。</p>	
内 容	前半	<p>内航海運の現状と役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.内航船の役割 2.内航海運業界の現状 3.内航海運と外航海運の違い 4.内航海運の市場構造 5.船舶管理(オーナー、オペレーター、船舶管理会社)
	後半	<p>内航海運の抱える課題と課題解消への取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 6.内航海運の課題と取り組み 7.内航海運の新たな取り組み 8.まとめ

海運実務研修講座 30 「船荷証券の基礎(全3回)」

改

B/Lの基本理解、国際運送や国際取引を学ぶ

★★

今年度 予定	1月頃 15:30～17:00 講師：有泉・平塚法律事務所 弁護士 山下 真一郎 氏
-------------------	---

昨年度実施状況

2020年度 講師交代

日 時	2019年6月21日、28日、7月5日(毎週金曜日) 18:00～19:30	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員：15,000円(税別) JSE非会員：30,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先／先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初・中級	
講 師	両宮総合法律事務所 弁護士・海事補佐人 両宮 正啓 氏	
略 歴	早稲田大学卒、早稲田大学大学院法学研究科(修士課程)修了。 早稲田大学客員教授、大連海事大学法学院客座教授、海法研究所[早稲田大学総合研究機構]客員上級研究員、日本海運集会所海事仲裁委員会仲裁人、日本海運集会所書式制定委員会委員、元・法務省法制審議会幹事(商法(運送・海商関係)部会)、元・国土交通省・標準運送約款等のあり方に関する検討会座長 など。	
概 要	船荷証券は国際海上物品運送、さらには国際物品売買取引において使用される基本的な有価証券となります。しかし、その理解は決して容易なものとは言えません。 本講座では、船荷証券に関する基本的な知識及びその理解の前提となる国際運送や国際取引の基礎を習得します。	
内 容	1	船荷証券の意義及び性質
	2	船荷証券の種類及び類似の運送証券
	3	船荷証券の約款及び運送人の責任

海運実務研修講座 31 「設問式船舶金融論(連続2日間)」

海事ビジネスを支える船舶金融の基礎解説と今後の展開

★★

今年度 予定	1月頃
-------------------	-----

昨年度実施状況

日 時	2020年1月27日(月)、28日(火) 13:30～17:00(途中休憩有)
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	初・中級
講 師	早稲田大学 大学院 法学研究科 非常勤講師 木原 知己 氏
略 歴	1984年九州大学法学部卒業後、日本長期信用銀行(現新生銀行)入行。主として船舶融資を担当し、営業第八部長、高松支店長を最後に同行退職。 2005年に都内金融機関に入行し、船舶金融チームを立ち上げる。 2011年、青山総合会計事務所顧問に就任し、パートナー、海事スーパーバイザーを歴任。 現在は、船主向け経営コンサルティングの傍ら、ファイナンスアレンジなどに従事する他、早稲田大学大学院法学研究科非常勤講師(船舶金融法研究)、センチパートナーズ代表取締役、海事振興連盟三号会員、海洋立国懇話会理事などを務める。
著 書	『船舶金融論—船舶に関する金融・経営・法の体系(2訂版)』(海文堂出版) 『シップファイナンス—船舶金融概説(増補改訂版)』(海事プレス社) 『船主経営の視座』(海事プレス社) 『波濤列伝—幕末・明治期の夢への航跡—』(海文堂出版) 『号丸譚—心震わす船のものがたり—』(海文堂出版) 『船舶金融法の諸相』(編著、成文堂)
概 要	船舶を建造・購入するときに必要な船舶金融の基礎(定義、体系、実務ほか)について、貸す側と借りる側双方の視点に立ち、初歩の金融論・船主経営論・海商法との接点を交えて設問式で解説します。 また、船舶金融の深化・進化について考察し、今後の展開について考えます。
内 容	1.船舶金融(船舶融資)の定義および類型 2.船舶融資における融資可否判断基準 3.船舶融資の実務およびモニタリング解説 4.船主経営の課題 5.船舶金融の進化 をテーマに、Q&A方式で解説します。

海運実務研修講座 32 「定期傭船契約(全4回)」

定期傭船契約の基礎を学び実務で生かす

★★

今年度 予定	2月頃
-------------------	-----

昨年度実施状況

日 時	2020年2月7日、14日、21日、28日(毎週金曜日) 15:30～17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初・中級 トラブル対応力向上のために、定期傭船契約の基本構造を学びたい方	
講 師	日本海運集会所 仲裁グループ 村上 尚暉	
概 要	本講座は、代表的な定期傭船書式であるNYPEシリーズの(傭船者の指示、傭船料、Off Hire、堪航性等)の解説を通じて定期傭船契約の基本構造の理解を深めることをねらいとしています。 判例やケーススタディーを交えて、定期傭船契約の本質的な理解と知識の整理ができるよう、ポイントを押えて解説いたします。	
内 容	主にNYPEシリーズを題材とし、定期傭船契約一般について概観・解説します。	
	1	契約の概要、サービスと航海指示、傭船料(概要)
	2	傭船料(Off Hire、Lien、Withdraw)
	3	費用負担、傭船期間
	4	堪航性、メンテナンス、配船、船荷証券、その他

海運実務研修講座 33 「船舶保険実務(中級)(全1日)」

実践的な対応力を強化する

★★☆

今年度 予定	2月頃
-------------------	-----

昨年度実施状況

日 時	2020年2月20日(木曜日)13:30~17:00(途中休憩有)	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	中級	
講 師	三井住友海上火災保険 海損部船舶グループ長 長瀬 泰彦 氏	
略 歴	1990年 大正海上火災保険(現 三井住友海上火災保険)入社。以降一貫して船舶・貨物の事故対応を担当し、2018年4月より現職。	
概 要	<p>船舶衝突事故例を設定し、事故の際に発生する実務上の問題解決に向けて、事故対応のフローの中で、船舶の所有者・運航者としてどのように考え、対応していくかを具体的なイメージを持って理解できるよう解説します。</p> <p>船舶保険のカバー内容の説明はありませんが、船舶保険のパンフレットを通読したことがあれば理解できる講座となっています。</p> <p>なお、本講座は船会社の法務・保険にかかわる方はもちろん、海・工務担当の方や財務にかかわる方にもお勧めいたします。</p>	
内 容	海難事故発生時の対応－衝突事故を例とした解説	
	1	衝突事故対応の基本フロー
	2	衝突直後の運航者としての初動対応
	3	海難救助 ・救助ケースにおける救助契約の選択について ・Alleged Salvageと強制的な救助 ・救助の完了と債務保証状
	4	衝突直後の検討事項 ・損害額および過失割合の評価 ・準拠法、裁判管轄地の検討 ・Arrest(差し押さえ)の回避/保証状の交換
	5	事案解決に向けた各種取組・検討事項 ・損害請求書類の交換 ・経済損失最小化のための早期解決策模索

海運実務研修講座 34 「船荷証券の実務上の問題点(中級)(全3回)」		改
実例を参考に学び、実務に活かす		★★★
今年度 予定	2月頃 15:30～17:00 講師:有泉・平塚法律事務所 弁護士 山下 真一郎 氏	

昨年度実施状況

		2020年度 講師交代
日 時	2019年7月12日、19日、26日(毎週金曜日) 18:00～19:30	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	中級以上	
講 師	雨宮総合法律事務所 弁護士・海事補佐人 雨宮 正啓 氏	
略 歴	早稲田大学卒、早稲田大学大学院法学研究科(修士課程)修了 早稲田大学客員教授、大連海事大学法学院客座教授、海法研究所[早稲田大学総合研究機構]客員上級研究員、日本海運集会所海事仲裁委員会仲裁人、日本海運集会所書式制定委員会委員、元・法務省法制審議会幹事(商法(運送・海商関係)部会)、元・国土交通省・標準運送約款等のあり方に関する検討会座長 など。	
概 要	本講座では、海運実務研修講座「船荷証券の基礎(全3回)」を踏まえて、船荷証券約款に基づく運送人の責任及び荷主の責任、加えて、判例や法的紛争となった実例や最新の学説を交え、それらを実務に活かしていただけるよう解説します。	
内 容	1	船荷証券の約款及び運送人の責任(1)
	2	船荷証券の約款及び運送人の責任(2)
	3	船荷証券の約款及び荷主の責任

海運実務研修講座 35 「造船契約の実務的検討(契約終了事由、引取拒絶、Warranty)(全1日)」 船舶建造・取引の法的ポイントを実例で学ぶ ★★	
今年度 予定	2月頃

昨年度実施状況

日時	2020年2月5日(水曜日) 13:30~17:00(途中休憩有)
場所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対象	初・中級 船舶建造や契約実務に携わる方。
講師	瀬野 克久 氏 一橋パートナーズ法律事務所 弁護士、早稲田大学海法研究所 招聘研究員、日本海法学会 会員、日本海運集会所 海事仲裁委員会海事仲裁人
略歴	慶應義塾大学法学部卒業。1984年 弁護士登録、1984-1990年 松尾綜合法律事務所、1990-2010年 一橋綜合法律事務所、2010年 一橋パートナーズ法律事務所、2012年 小町谷奨学金(日本海法学会賞)受賞、2013年 山縣記念財団 山縣勝見賞著作賞受賞。
著書	『船舶融資取引の実務(全訂版)』『船舶建造取引の実務』『船舶売買取引の実務』
概要	<p>船の建造に関する国際取引においては、経済情勢の変化や当事者の経営上の事情あるいは、契約履行における過失等により本船の引取り不能、引き渡し遅延、本船の瑕疵等の問題が起こり得ます。そうしたときに造船契約にかかわる然るべき法的な対応が求められます。</p> <p>本講座では、講師の実務経験を踏まえ、造船契約における法的な論点の検討を通し、標準的な造船契約の構成、主要な条項やそれらを解釈するための国内外の法原則、トラブルに遭遇した場合に取るべき対応、トラブルを防止するための契約文言等を学んでいただくことを目的としています。</p> <p>前回(2018年度)の講義では造船契約全般に渡り講義を行ったため、時間の都合等により各項目を子細に説明することができなかつたため、今回は造船契約において紛争となりやすいポイントである「契約終了事由」「引取拒絶」「Warranty」の3点に絞って講義を行います。</p> <p>本講座の対象は主に、海事産業で造船契約実務に携わって間もない方、及びある程度実務経験を有する方です。特にある程度実務経験を有する方には、造船契約の法的な基礎を確認したい、造船契約上のトラブルについて質問したいといった方にもお勧めです。</p>
内容	<p>1.造船契約における当事者の主たる義務(概観) (1)Builderの主たる義務(概観) (2)Buyerの主たる義務(概観)</p> <p>2.造船契約終了事由及び効果 A01 造船契約の終了事由(全般) 【契約に明記されている条項-express terms】 A02 Buyerの権利行使 -Delivery遅延とBuyerによる契約解除事由 A03 Buyerの権利行使 -建造中の全損の場合の処理 A04 Buyerの権利行使 -その他契約解除事由 A05 Buyerの権利行使 -BIMCO FORMIにおける契約解除事由 A06 Buyerの権利行使 -契約解除の効果 A07 Builderの権利行使 -契約解除事由及び効果 【契約に明記されていない条項-implied terms】 A08 契約に明記されていない事由による契約解除 [日本法を準拠とする場合] A09 契約に明記されていない事由による契約解除 [英国法を準拠とする場合] 【纏め】 A10 Buyerの権利主張選択とBuilderの反論</p> <p>3.船舶の引渡し B01 船舶引渡の時期及び場所 B02 船舶引渡の手續 B03 Buyerによる船舶の引取拒絶について 1.造船契約における規定 船舶が適合すべき基準 2.英国法の観点 3.日本法の観点</p> <p>4.造船契約におけるWarranty C01 Warrantyあるいは瑕疵担保責任とは C02 Warrantyの内容(1) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 1 & 2) C03 Warrantyの内容(2) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 3) C04 Warrantyの制限(1) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 4(a)第一文) C05 Warrantyの制限(2) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 4(a)第二文) C06 Warrantyの制限(3) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 4(b)) C07 Warrantyの制限(4) (SAJ FORM Article IX, Sub-Article 4(c)) C08 Warrantyの請求権者 C09 造船契約とPL責任</p>

海運実務研修講座 36 「船舶売買の実務(全3回)」

トラブルを防ぐ船舶売買の注意点

★★

今年度 予定	3月頃
-------------------	-----

昨年度実施状況

日時	2020年3月3日、10日、17日(毎週火曜日) 15:30~17:00	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初・中級 基本的な専門用語が分かる方	
講師	ティエッチマリンアンドエンタープライゼス 代表取締役 吉丸 昇 氏	
略歴	1957年中央大学法学部卒業。海運・造船関係の専門紙記者を経て1970年船舶売買のケープリングブローカーに転進し、1989年より現職。 著書に『船舶売買契約書の解説(改訂版)』(成山堂)がある。	
著書	『船舶売買契約書の解説(改訂版)』(成山堂) ※本講座ご受講の方に限り『船舶売買契約書の解説(初版・絶版)』(成山堂)を8,800円(税込)で購入できます。	
概要	船舶売買の商談の開始から売買の完結までの間の実務に携わる上での重要なポイントについて説明致します。また、過去のトラブル事例の紹介とその防ぎ方や解決策まで、半世紀を超える船舶売買ブローカーとしての経験談を交え、そのノウハウをお話します。 本講座は、中古船売買に関わって間もない方にとっては、船舶売買契約の交渉・締結上の注意点を把握でき、実務経験のある方にとっては、知識の確認や復習に加え、質疑応答により国際取引の商慣行に則したトラブルの防止と解決について理解を深めることができます。	
内容	1	商談の開始から成立(手付金の確認)まで、および船舶売買契約書の書式全般について ・商談開始に関するAuthorityとCommitmentについて ・見船を省略し検査記録の閲覧と積荷経歴や写真判定でオプファー ・契約成立の国際解釈に二つの流れ ・国際取引で認知されない諸慣行 ・手付金の受領確認で諸手続きを開始 ・SALEFORM2012、SSF2011、PROTOTYPE等について
	2	売買契約書のプレアンブルと第1条から第15条までの説明および追加条項についての説明 ・プレアンブル作成上の注意点 ・トラブルの少ない条文作成のポイント(第1条から第15条) ・追加条項には取引の実態を詳細に反映させる
	3	船舶売買での実務上の主な問題点 ・市況が決める船舶売買の難易度 ・善良な買主の見分け方 ・契約の成立に二つの解釈 ・AS ISと船級維持証書との関係 ・売買代金授受の問題点 ・本船の引渡準備完了の意義と効力 ・本船引渡後の船主責任(契約不適合船の引渡し) ・実務上の損害賠償請求の範囲
	4	実務上の観点から見たNIPPONSALE1999の修正点 ・第2条 Payment (a) ・第5条 Delivery Condition (a) ・第6条 Underwater Inspection (c) ・第14条 Default and Compensation (b)
	5	船舶売買の最近の傾向

海運実務研修講座 37 「タンカー航海傭船契約(全3回)」

ASBATANKVOYの実務と留意点を学び応用力をつける

★★

今年度予定	3月3日、10日、17日(毎週水曜日) 15:00~17:00(120分/回)
--------------	---

昨年度実施状況

日時	2020年3月4日、11日、18日(毎週水曜日) 15:00~17:00(120分/回)
場所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル対象	初・中級
講師	元福岡大学教授/早稲田大学 海法研究所招聘研究員 榎本 啓一郎 氏
略歴	イギリス、インドでの生活経験とアメリカでの留学経験を持つ。1971年成城大学経済学部卒業。同年、三井物産に入社、有機化学品部にてリキッド・バルク・ケミカルの国際商取引等を担当。 台北、ブリュッセルでの海外勤務を経て、バンコックにてタイ国三井物産の副社長を務め、2002年から2013年3月まで福岡大学商学部教授として国際貿易に関わる教育と傭船契約の研究に従事。 現在、早稲田大学海法研究所招聘研究員として研究を継続中。国際商取引学会、日本貿易学会、日本海法学会、異文化経営学会の会員。 2012年 山縣記念財団「山縣勝見賞」「論文賞」受賞
概要	本講座は、タンカーの運航や営業に携わっている実務担当者や傭船者を対象とした基礎編です。リキッド・バルクカーゴ(原油、石油製品、ケミカル等)の航海傭船契約に広く利用されているASBATANKVOY標準書式で締結された契約の履行のルールについて講師の体験を交えながら実践的な解説をします。 個別条件の記載要件とその意義をはじめ、一般条件を巡る船主と傭船者の相反するリスクと費用の負担等について、分かり易く具体的に言及します。 さらにSHELLVOY 6、ExxonMobil VOY 2012、BP VOY 5等の主要な条件とも比較することによりASBATANKVOYの特徴を明らかにするとともに、ASBATANKVOYの運用に関わる留意点を浮き彫りにして行きますので、理解を一層深め、応用力を向上させることが期待できます。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ASBATANKVOYの構成と個別条件 ・航海傭船契約における責任の分担 ・船主の義務 ・傭船者の義務 ・遅延と損害賠償金 ・「着船」と碇泊期間の始動 ・荷役準備完了通知の効果 ・指定港とバースへのアクセス ・荷役と碇泊期間 ・慣習的早荷役 ・まとめ

海運実務研修講座 38 「船の省エネ・環境対応技術」



今年度 予定	3月頃
-------------------	-----

一昨年度実施状況

日 時	2019年3月26日(火曜日) 15:30～17:00
場 所	日本海運集会所 会議室
受講料	JSE会員:5,000円(税別) JSE非会員:10,000円(税別) ※資料代含む。
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。
レベル 対 象	入門
講 師	日本海事協会 人材開発センター 高品 純志 氏
略 歴	1972年東京大学工学部船舶工学科卒、1974年同大学院修了、同年三井造船に入社、技術本部にて船の推進性能・運動性能に関する研究に従事。その後、同社昭島研究所に配属、新形式高速船、船舶の運動制御装置等の開発に携わり、2006年～2013年の間三井造船昭島研究所社長。1992年東京大学より博士(工学)取得、2015年より横浜国立大学客員教授、2016年より日本海事協会勤務。
概 要	現在海運・造船業界でホットな話題となっているCO ₂ 、NO _x 、SO _x 排出削減規制について、技術的な対応策を中心に解説いたします。 まず、船の輸送効率の良さを理解するために、船の推進性能(燃料消費率、船体抵抗、プロペラ効率等)について解説をいたします。次いで、船に関わる各種環境規制を概説し、CO ₂ 排出削減技術を中心に環境規制対応技術の現状、見通しなどを説明いたします。 最後に、海事産業で現在取り組んでいるデジタルイゼーションについて、環境対応の観点から展望を述べます。
内 容	1.船の推進性能 2.船に関わる環境規制 3.様々なCO ₂ 削減技術 4.NO _x 、SO _x 削減技術 5.船のデジタルイゼーションと環境対応技術

海運実務研修講座「オフショアエネルギー保険の基礎(全1日)」		☆☆
オフショアエネルギー保険の概要を学び、実践力を養う		
今年度 予定	休講(2021年度開催予定)	

昨年度実施状況

日 時	2019年9月11日(水曜日) 13:30~17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級	
講 師	1	三井住友海上火災保険 船舶営業部第四課 課長代理 門平 達也 氏
	2	三井住友海上火災保険 海損部船舶グループ 課長 成田 亮 氏
概 要	<p>オフショアエネルギー保険は、洋上での石油・ガスの開発に伴うリスクをカバーする保険です。本講座では、オフショアエネルギー保険の基礎および保険クレーム対応について解説します。</p> <p>前半は、洋上石油/ガス生産プロジェクトに関わる物保険、賠償責任保険、費用保険、利益保険について、各保険の概要や補償範囲を解説します。</p> <p>後半は、オフショアエネルギー保険クレームの特徴、過去の大口保険クレームの概要、保険クレームにおける留意点などを解説します。</p>	
内 容	1	オフショアエネルギー保険についての解説 ・オフショアエネルギー保険の特徴 ・オフショアエネルギー保険の手配 ・財物保険(Property)、暴噴制御費用保険(Cost of Control) 賠償責任保険(Liability)、利益保険(Business Interruption / Loss of Earnings)
	2	オフショアエネルギー保険クレームについての解説 ・オフショアエネルギー保険クレームの特徴 ・過去の大口保険クレーム事例 ・オフショアエネルギー保険クレームの精算実務

海運実務研修講座「外航貨物海上保険 入門(全3回)」

荷主・運送人双方の理解のために

★☆☆

今年度 予定	休講(2021年度開催予定)
-------------------	----------------

昨年度実施状況

日 時	2019年10月4日、11日、18日(毎週金曜日) 15:30~17:00	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	初級 荷主、海運会社の営業・運航担当者など	
講 師	1、2	三井住友海上火災保険 海上航空保険部貨物保険チーム課長 大島 淳志 氏
	3	三井住友海上火災保険 海損部 貨物第二グループ長 横井 力 氏
概 要	<p>船舶の安全管理技術の発達により海難の発生件数は減少していると言われてはいますが、自然災害や人為的に起因する海難とそれに伴う貨物損害は後を絶たず、貿易取引の当事者は、貨物保険を適切に手配してリスクを軽減させる必要があります。</p> <p>本講座では、海上輸送中のリスクに対してどのような条件で保険を付保すれば、どのような損害が補償されるのか、実例に基づき基礎から解説いたします。また、貨物損害が発生した場合に、荷主としての対応と手続きも詳述いたします。</p> <p>なお、運送人の視点から損害が貨物保険でカバーされない場合や、貨物保険者から求償された場合の対応(運送クレームへの対応や責任保険によるカバー等)についても触れます。</p>	
内 容	1	外航貨物海上保険の基礎(1) 保険の成り立ち 外航貨物海上保険の役割 大規模損害の実例 海上運送人の責任 共同海損 売買契約と外航貨物海上保険の手配者
	2	外航貨物海上保険の基礎(2) 補償内容 保険期間 主な免責事由 費用損害と特約 保険料率 申込方法
	3	貨物損害発生時の対応 保険金のご請求手続き(流れとポイント) ケーススタディ 海外クレーム体制 共同海損(General Average)とは?

海運実務研修講座 3 「トランプオペレーターの業務(全1日)」 ※旧 全2回		改
業界入門講座！ チャーターリング、配船、運航業務のあらし		★
今年度 予定	休講	

昨年度実施状況

2020年度開催形態変更

日 時	2019年9月5日、12日(毎週木曜日) 18:00~19:30	
場 所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む。	
定 員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対 象	入門	
講 師	元 昭和海運 営業2部長 大島 和実 氏	
略 歴	<p>1971年早稲田大学商学部卒業後、昭和海運入社。 不定期船部近海課配属を皮切りに、在来船定航部門での数年間を除き、1998年までの27年間を一貫して ケーブサイズ、Panamax等の大型—中型不定期船営業部門で用船・貨物契約等の業務を担当。 1995年からは不定期船第二営業部長として、ハンディーサイズも含めたフリー船バルク部門全般の営業を 担当。 1992年から1995年までロンドン駐在。このほかドバイ、クアラルンプールでの駐在も経験。 1998年、昭和海運と日本郵船の合併を機に、米国Portlandに本社を持つLasco Shippingの日本代表に就 任。 2003年、デンマークのClipper GroupによるLasco社の買収を機に、クリッパー・ジャパン代表取締役を務め た。</p>	
概 要	<p>一般不定期船の市況変動に海運会社の業績が左右されることはよくありますが、貿易を担う不定期船運 航の仕事がなくなることはありません。 金融取引・ITなどは異なり、この仕事は、生きた人間の乗る‘船’を道具に我々の生活に欠かせない物 資を運ぶ実業であるだけでなく、商売上の人間関係・長期信頼関係がいまだに大いに物を言うアナログで 魅力に富んだ世界でもあります。 本講座は、講師の実経験や失敗談等を織り交ぜながら、若い世代の海運マンに‘Tramp’業務の魅力 を伝え、今後の手引きとなるよう構成されています。</p>	
内 容	1	<p>不定期船(Tramper)業務は海運マン・ウーマンの神髄</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.不定期船業務とは 2.船の種類 3.不定期船貨物 4.傭船契約(航海傭船・賃積=Voyage Charter) 5.C/B
	2	<p>伝統的不定期船事業(一般不定期船)の復活は必須</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.Operation 2.引き合い 3.傭船契約(定期傭船=Time Charter) 4.傭船と社船 5.不定期船経営とマーケット

海運実務研修講座 7 「貿易実務基礎(全1日)」 ※旧 全3回

改

仕事の基礎固め！ 貿易のしくみをきちんと理解する

★

今年度 延期(時期未定)
 予定 6月2日(火曜日) 10:00~16:00(昼休憩、途中休憩有)

一昨年度実施状況

2020年度復活・開催形態変更

日時	2018年5月10日、17日、31日(毎週木曜日) 15:30~17:00 ※5月24日(木)は休講。	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:15,000円(税別) JSE非会員:30,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル対象	入門 新入社員、中途入社社員で、実務の基本的なことを学習したい方。	
講師	アースリンク 貿易アドバイザー 川村 久美子 氏	
略歴	大学卒業後、電子材料商社・電子精密部品メーカーにて一貫して仕入管理業務を担当。 取引先の海外展開拡大に伴い、輸出・輸入業務全般も兼任。以降、実務部門の責任者として、新入社員のオリエンテーション、一般社員を対象とした貿易実務に関する勉強会等、社内研修の立案・計画も含めて社内講座を開催、講師を務める。 定年退職後、株式会社アースリンクにて、これまでの豊富な実務経験を生かし、貿易実務、外為講師および企業の海外展開に関するアドバイザーとして本格的に活動開始。講師業のかたわら、株式会社アースリンクにおいて、貿易アドバイザーとして企業の海外展開のコンサルタント業務も行っている。 貿易実務検定準A級、グローバルビジネス法務検定C級、教員免許「英語」中学1級、高校2級、図書館司書資格保持者。	
概要	本講座では、貨物と書類の流れや貿易取引条件など、一般的な貿易実務の流れを体系的に把握し、基礎的な知識を学習していきます。 輸出者と輸入者の費用負担や責任の範囲、保険の付け方などリスク分担のしくみをインコタームズを通して身につけます。 最後に通関や輸出入の制度、貨物の引き取りに関わる実務を解説します。また、初心者がイメージしやすいよう、例を交えた説明とともに、図表や書類サンプル等の資料を用いて構成されています。	
内容	1	1.貿易取引の流れ ・国内取引と貿易取引との相違点 ・貿易取引の流れ(L/C取引) ・貿易取引の主要書類 ・荷為替手形による決済
	2	2.インコタームズ ・インコタームズとは ・費用負担の範囲と貨物の危険負担の範囲 ・インコタームズの11条件 ・インコタームズと輸送 3.貿易運送 ・海上輸送とB/L ・航空輸送とAir Waybill ・複合輸送
	3	4.輸出の実務 ・輸出実務の流れ ・輸出通関のしくみ ・輸出の法規制 ・コンテナ船への船積み 5.輸入の実務 ・輸入実務の流れ ・輸入通関の流れ ・輸入の法規制 ・関税制度 ・コンテナ船の貨物引き取り ・B/Lなしの貨物の引き取り ・Sea Waybill ・Surrendered B/L

海運実務研修講座 8 「共同海損基礎(全2回)」

海上輸送リスクを利害関係者間で分担する仕組みを学ぶ

★☆☆

今年度 予定	休講(2021年度開催予定)
-------------------	----------------

昨年度実施状況

日時	2019年6月12日、19日(毎週水曜日) 15:30~17:00	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:10,000円(税別) JSE非会員:20,000円(税別) ※資料代含む	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	初級	
講師	チャールス・テイラー・ジャパン 代表取締役 関根 司 氏	
概要	<p>今年度は共同海損(General Average=GA)の基礎に焦点をあて、全2回で実施します。 GAとは何か、GAを理解するための基礎的なポイントを押さえたうえで、いくつかの事故例を参考にGAの知識を習得します。 また、最新のYAR2016の主な改定点についても簡単に触れます。 最後に、全2回を総括した小テスト(10問程)で知識の確認ができます。</p>	
内容	1	GAの基礎知識(1) ・GAとは何か? ・GAの成立要件 ・二つの種類のGA「損害」 ・GA事故の例 GAの具体的な事故例を3つほど紹介し、どのような出費がGAに認められるのかを解説します。 ・GAとYARの関係 ・YARの歴史
	2	GAの基礎知識(2) ・GA Declarationについて ・GA Securityについて ・実際にGA事故が起こったら?各当事者の役割 事故の際に、船主、傭船者、荷主等、各立場における対応を解説します。 ・YAR 2016の改定点 ・小テスト

海運実務研修講座 18 「ドリルシップ・オフショア支援船・FPSOを とりまくリスクと契約上のリスク分担(全2日)」

海洋フロンティア事業のリスクを考える

★★★

今年度 予定	未定
-------------------	----

昨年度実施状況

日時	2019年10月29日、11月5日(毎週火曜日) 13:30~17:00 (途中休憩有)	
場所	日本海運集会所 会議室	
受講料	JSE会員:20,000円(税別) JSE非会員:40,000円(税別) ※資料代含む。	
定員	50名(JSE会員優先/先着順) ※定員になり次第締め切らせていただきます。	
レベル 対象	中級以上 実務経験3年以上	
講師	星 誠 氏	
略歴	1983年保険会社入社。米国でMBA取得後、7年に亘りサハリン2プロジェクトのリスクマネージャーを務める。業務の一環として、コントラクト担当やプロジェクトファイナンス担当への指導、アドバイスを実施。2003年から2009年まで保険会社で船舶・海洋エネルギー開発保険の保険金支払い業務の責任者を務める。その後、コンサルタントとして深海用ドリルシップ向けのプロジェクトファイナンスへの保険アドバイザーも経験。英米の海洋開発・海事関連の判例研究多数。	
概要	近年本邦の海運業界から関心が高まる海洋資源開発関連船舶の事業リスクを考えるうえで重要な契約上のリスク分担を検討します。 1日目に、石油開発に伴う主要リスクおよび一般的な商船運航リスクとの違いを検討したうえで、プロジェクト関係者内での契約によるリスク分担の考え方とその背景を論じていきます。2日目は、主要な論点について、実例(公開判例)に基づくケーススタディにより理解を深めることをめざします。 契約上のリスク分担のサンプルとしては主に一昨年6月に発表されたBIMCOのSUPPLYTIME 2017を使用します。SUPPLYTIME 2005 との主要変更点も併せて検討する予定です。	
内容	1日目 10月29日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> 1.海洋エネルギー開発関連のリスクと通常船舶リスクの文脈の違い <ul style="list-style-type: none"> ・主要事故事例から考える海洋開発のリスク ・通常の船舶運航リスクとの文脈の違い 2.海洋エネルギー開発の文脈を踏まえたリスク分担の原則 <ul style="list-style-type: none"> ・リスク分担の実務(主要標準契約) ・メキシコ湾暴噴事故以降の傾向 ・リスク分担の背景哲学 ・契約上のリスク分担の限界 ・リスク分担以外の戦略的リスクヘッジの重要性 3.SUPPLYTIME2017 改定点の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・例外削減によるKnock for Knockの強化 ・Knock for Knock適用範囲の落とし穴の削減 ・重大な契約違反でもKnock for Knock? 4.同様のリスク分担のその他のBIMCOフォーム <ul style="list-style-type: none"> ・WINDTIME, HEAVYCON(想定される文脈のみ紹介します)
	2日目 11月5日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> 1.ケーススタディ(以下は検討予定のケース) <ul style="list-style-type: none"> Knock for Knock補償請求の実例と社会的意義:Piper-A事故(英貴族院判例) 「Company Group」の定義:Njord-B事故(ノルウェー控訴裁) 巨額汚濁責任の分担:BP v Transocean(米連邦控訴裁) Additional Assuredの範囲:BP v Transocean(米連邦控訴裁) 保険者求償とKnock for Knock:Lloyds v Cameron(米連邦地裁) 間接損害の自損自弁:Transocean v Providence Resources(英控訴院) 2.巨額化する罰金と刑事罰の影響を考える <ul style="list-style-type: none"> ・時間が許せば事業リスクを考えるうえで、無視できないリスクになりつつある罰金と刑事罰の実例と影響を検討します。 3.その他トピックスの検討

※各講座の日程や詳細については、関係各位に【JSEメール通信】にて配信しています。
毎月16日前後に、翌月に開催する全ての講座・セミナーの概要をお知らせし、
また、各講座の開催日の3週間前に申込みフォームを添えて詳細をご案内しています。
配信をご希望の方は、project@jseinc.org 宛てにメールにて以下をお送りください。

1. 会社・法人名
2. 部署名
3. 役職名
4. 氏名(ふりがな)
5. メールアドレス

(注)個人アドレスは上記1～5を、グループアドレスは1, 2及び5をご記載ください。
複数のアドレスへの配信も承ります。

(お問い合わせ先)

一般社団法人 日本海運集会所 セミナーグループ
〒112-0002 東京都文京区小石川2-22-2 和順ビル3階
TEL 03-5802-8367 E-mail project@jseinc.org
HP <http://www.jseinc.org/index.html>

The Japan Shipping Exchange, Inc.

<http://www.jseinc.org/index.html>